



第8号 令和4年6月

出雲更生保護女性会だより

結成60周年記念式典特集号

去る5月19日木曜日13時30分から『出雲更生保護女性会結成60周年記念式典』を全会員参加のもとで行われました。コロナ禍で客席は離れて座り、久しぶりに会った会員とも、距離を置いて大声ではしゃべらず、消毒にマスク着用といった、いつもと違う式典の様子に緊張も走りました。

記念式典の幕開けです！式典にふさわしい祝舞、黙禱、御歌斉唱、綱領唱和、嘉藤会長あいさつ、来賓松江保護観察所長 西江尚人様・出雲地区保護司会長 三島洪道様の祝辞、来賓に出雲地区BBS会長 春日智徳様・出雲地区コミュニティセンター長会長 板垣祐治様のおふたりを加え紹介がありました。記念講演は保護観察所長の西江様から「再犯防止における更生保護の役割～更生保護女性会の活動の背景となる保護観察事例を中心に～」を拝聴しました。



[受付で先ず検温]



[席も隣をあけて]



[式典にふさわしい祝舞]



[嘉藤会長あいさつ]

[講師・来賓の方々]

[顧問・副会長]



[嘉藤会長あいさつ]



[西江松江保護観察所長あいさつ]



[三島出雲更生保護司会長あいさつ]

若葉の照り輝く日に

結成60周年記念式典が 今後の発展を目指す新たなスタートとなることを念じ、皆様の熱意と努力により、記念式典を盛大に開催することができました。心より感謝申し上げます。

更生保護女性会は「更生保護」に協力するボランティア団体であり、「愛の募金」活動は、私たちにできることは何か、何ができるか、どのように進めるか 問い続けながらの60年の歳月であっただろうと思います。目まぐるしく変わる社会、これからも社会が抱える課題も変わります。身近に住んでいる方々のご支援があつての活動です。試行錯誤しています。そんな時は先輩諸姉に思いをいたし歴史の重みをかみしめ、希望と勇気をいただき歩みを進めてまいりたいと思います。

会長 嘉藤 馥美

出雲地区更生保護女性会結成60周年記念式典を無事終えられましたこと、お喜び申し上げます。10年前の自分たちの活動が走馬灯のように浮かんできました。会は実行員会を重ね、内容、進め方等役割を綿密に計画されていて、オープニングでの詩吟に合わせた扇舞に感動いたしました。記念講演では、西江松江保護観察所長より、犯罪の実態は、「約3割の再犯者によって6割の犯罪が行われている」その状況から国では、「国、地方、民間との連携が重要」であり、更女としての役割を紹介くださいました。地域の状況を今一度踏まえ、検討してみたらとの想いを痛感しました。

大津地区 鐘築 章恵



〔司会進行〕



〔開式・閉式のことば〕



〔綱領唱和〕



〔講演謝辞〕

記念講演



松江保護観察所長 西江様

「再犯防止における更生保護の役割
～更生保護女性会の活動の背景
となる保護観察事例を中心に～」

松江保護観察所所長の西江尚人様をお迎えしてお話を伺いました。まず、再犯防止推進計画について、国では、平成28年に犯罪防止推進法が制定され、各地方公共団体でも再犯防止推進計画が策定されました。国・地方・民間団体等との一層の連携強化が求められています。私たち更生保護女性会もその一翼を担っているところです。次に、保護観察事例を中心にお話し頂きました。様々な困難を抱える被害者や加害者への支援は容易なことではありませんが、それぞれの心情を伝えることは課題解決の重要なカギになると思いました。講演を通して更生保護女性会の役割の大切さを改めて痛感し、これからも善意の心を生かして活動を続けていきたいと思えます。

大津地区 佐藤道子

参加された方々の感想から

新型コロナウイルス感染拡大による様々な制限の中で更女の活動も思うようにできなく、いろいろな面で不自由を感じておりましたが、この度は感染対策をしっかり講じたうえで、出雲更生保護女性会結成60周年記念式典並びに総会が盛大に催されたことに心よりお祝い申し上げます。

皇后宮御歌の流れに引き続き、会員御三方による吟に合わせて扇舞が厳かな中にもすがすがしく挙行されたこと、感無量でした。

未だ出口の見えないコロナ禍にあって、今一つやる気を削がれておりましたが、執行部の皆様方の熱心さに元気をいただき、勇気が湧いてきました。ありがとうございました。

川跡地区 土江道子

先般は更生保護女性会結成60周年記念式典をビッグハートにて開催されました。一年以上も前から準備を進めて来られたみなさまに感謝申し上げます。当日、更生保護女性会綱領をお唱えしながら、先達の慈愛に満ちた志があって今日まで継承されていることへ、私は畏敬の念に打たれたと同時に「温故知新」という言葉が頭に浮かんできました。その時代、時代に応じて活動の内容を検討工夫しながら、現在の社会状況にあった活動を私たちがしていかなければならないと思えました。

朝山地区 雲藤芳子



〔参加者の素敵なお顔〕

今年度より理事になり、60周年記念式典の準備や運営のお手伝いが初仕事となりました。実行委員会の皆さんを中心に、節目の式典を成功させようとする熱意に圧倒されました。当日は好天に恵まれ、コロナ禍ではありましたがたくさんの会員の方が出席され、盛大に式典及び総会が開催されました。記念式典に参加しながら、改めて60年という長きにわたり、これまで活動してこられた諸先輩の方々の功績を感じました。一人一人の力は小さいけれど、会員力を合わせると多様で大きな力となり、更生保護女性会の活動が成り立っていること、そして私たちが次の10年に向けてしっかり受け継いでいかなければいけないと思いました。

長浜地区 青木久美子

出雲更生保護女性会結成60周年おめでとうございます。

この良き年に参加できていることに感謝しています。一層の発展とご活躍をお祈りし、皆様と一緒に活動のお手伝いが出きたらと思います。

この会に入会したことで知り合えた会員の皆様との交流も深めつつ、地域のためのお役に立てる活動をしていきたいです。

高松の会員も少ないのですが、少しでも地区の皆様にも更生保護の会を知ってもらえればと願っております。

高松地区 瀬島純子

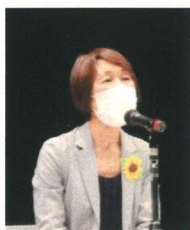


令和4年度出雲更生保護女性会総会

感謝状贈呈



[神門地区 三島シツエ様 ・ 神門地区 高橋洋子様 ・ 塩冶地区 打田千寿子様]



[児玉議長]

総会はスムーズに流れ、議事は可決されました。コロナ禍ですが、対策を打ちながら活動できるように頑張りましょう！



[令和4年度 役員]